

「日野町同和対策に係る固定資産税
減免措置要綱」の一部改正により
固定資産税の減免措置
平成二十四年度廃止へ

三月十二日の全員協議会で、平成十九年度まで同和対策の一環として実施されていた、固定資産税の減免が平成二十四年度廃止へ向けて、西部町村会で合意されたとの報告がありました。

各町村の実情もあるため、平成二十四年度に向けてそれぞれが段階的な取り組みをしていく事になり、本町は平成二十年度から激変緩和措置として、四分の一ずつの減免を実施することになりました。



固定資産税対象の黒坂発電所

日野町同和対策に係る固定資産税減免基準

課税標準額の区分	減 免 率			
	20年度	21年度	22年度	23年度
700万円を超え 1,000万円以下の金額	7.50%	7.50%	5.00%	2.50%
400万円を超え 700万円以下の金額	9.37%	9.37%	6.25%	3.12%
200万円を超え 400万円以下の金額	16.87%	16.87%	11.25%	5.62%
200万円以下の金額	31.87%	31.87%	21.25%	10.62%

西部町村の状況 (平成20年3月現在)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
日南町	2 / 4	2 / 4	1 / 4	1 / 4	廃止	実施済
日野町	3 / 4	3 / 4	2 / 4	1 / 4	廃止	協議済
江府町	現行 4 / 4	3 / 4	2 / 4	1 / 4	廃止	協議中
伯耆町	現行 4 / 4	3 / 4	2 / 4	1 / 4	廃止	協議中
大山町	現行 4 / 4	3 / 4	2 / 4	1 / 4	廃止	協議中
南部町	現行 4 / 4	3 / 4	2 / 4	1 / 4	廃止	協議中
日吉津村	同和減免なし					

あとがき

桜が散り、ツツジの季節も終わり、水田の水面には早苗が春風に揺れています。山々が柔らかなみどりに包まれ、さわやかな日野路となりました。

厳しい財政状況は変わりませんが、単年度の赤字額が三ヶ月で約五百万円と驚異的減額数値を示し、日野病院も黒字決算の方向性が見えてきました。

オシドリ観察や金持神社に十万人もの人が訪れ、観光によるまち起こしの手本となつていきます。

財政再建という名の下に、無駄を省き、創意と工夫、知恵と汗によるまちづくりの意識改革は、きつと町民の財産となり、新しいまちづくりの源となることを信じていたいと思います。

この町にもようやく春の兆しが見えてきました。

委員 小谷博徳

議会広報調査特別委員会

- 委員長 佐々木周子
- 委員 松本利秋
- 委員 佐々木求
- 委員 小谷博徳
- 委員 松原直人